

## 地球温暖化対策推計画検討専門委員会での検討経過（報告）

専門委員会委員長 郡 崙 孝

### 1 検討経過

3月29日に知事の諮問を受けてから、3回の専門委員会の会議を開催

### 2 検討内容

#### （1）温室効果ガスの削減目標<条例に明記>

- ・2010年度（平成22年度）に1990年度（平成2年度）比10%削減

#### （2）部門別目標

- ・産業、運輸、民生・家庭系、民生・業務系、エネルギー転換等7部門毎に府内での施策の展開状況等を踏まえて設定（施策積み上げ方式）

#### （3）地域別目標

- ・広域地方振興局の区域毎に重点課題を明確化し、府域全体での取組を促進

#### （4）目標達成に向けて取り組むべき施策

- ・府民総参加での取組を進めるため、「意識づくり」「人づくり」「仕組みづくり」の施策を実施

##### <13分野で京都府の特性を活かした対策>

- ・KES環境マネジメントシステムの導入促進
- ・条例の削減計画・報告制度による自主的取組の促進（事業、運輸、建築物、屋上緑化）
- ・省エネ・環境配慮型商品の普及促進
- ・エコドライブの普及、アイドリングストップの徹底
- ・太陽光、風力等の自然エネルギーの導入促進
- ・府内産木材利用・府民参加による森づくりの促進 等

#### （5）府民にわかりやすい行動モデル

- ・10%削減の目標に向けた家庭・事業者ごとのモデル的取組の設定による取組の促進
- ・府民が実感しやすい直近年度（2002年度）からの取組を設定

#### （6）推進体制

- ・京都府＝条例に基づく推進計画・実行計画の策定・実施、広域振興局における体制整備、連携強化による支援等
- ・市町村＝組織体制の整備、推進計画の策定（4→28）、実行計画の策定（10→28）  
地域協議会の組織化（7→28）
- ・京都府地球温暖化防止活動推進センター＝体制整備
- ・京都府地球温暖化防止活動推進員＝増員、活動強化

(7) **その他**

- ・ 温室効果ガスの排出量を大幅に削減する脱温暖化社会を実現するため中長期的目標（2025～2030年頃）として実現すべき社会を展望し、中長期的視点に立った戦略を推進

→ライフスタイル、地域整備・交通、エネルギー等の転換